

マリ！

ルイ王朝最大のスキヤンダル——

仕掛けたのは、一人の女と

2800カラットのダイヤモンド

アムントワネットの

首飾り



監修：ルイ・ド・カサネ、脚本：ルイ・ド・カサネ、演出：ルイ・ド・カサネ、音楽：ルイ・ド・カサネ、衣装：ルイ・ド・カサネ、美術：ルイ・ド・カサネ、照明：ルイ・ド・カサネ、編集：ルイ・ド・カサネ、配給：ルイ・ド・カサネ、制作：ルイ・ド・カサネ、www.horndis.com

ルイ王朝最大のスキヤンダル——
仕掛けたのは、一人の女と
2800カラットのダイヤモンド

Affair of the Necklace

www.necklace.jp

王妃の首を飾るのは、ダイヤの輝きか、ギロチンの刃か…。 たった一つ的首飾りで王妃の運命を殺した女—— ジャンヌとは一体誰か？

断頭台の露と消えた悲劇の王妃マリー・アントワネット。歴史の裏には驚くべき、一人の女の復讐劇があった…。

1785年8月15日、フランス革命前夜。時価192億円の“首飾り”を巡り、女の野望が牙をむく。欲望と陰謀が渦巻くブルボン王朝を、華麗に壮絶に生き抜いたジャンヌ、25歳。昨年「ボーイズ・ドンド・クライ」で性同一障害に悩むヒロインを好演してアカデミー賞を始め各賞を総ナメし、ハリウッドを震撼させたヒラリー・スワンクが、美貌とSEXを武器に、王妃を毘に陥れる野心溢れる主人公ジャンヌを熱演、早くも21世紀“初”のアカデミー賞候補として、話題沸騰中です。

SEX、セレブレリティ、そして金、裏切り、そしてロマンス。世紀のスキャンダル“王妃の首飾り”事件の真実が、300年の時を越え、今、明らかに!!!



陛下を傷つけるつもりはありませんでした。ただ、自らの誇りと名誉を取り戻したかったのです——。

かつて王位にもついていたフランスの名門ヴァロア家は、ジャンヌの父の代に政敵の毘によって葬り去られ、領地は没収、館は炎上し、両親は死亡。たった9歳のジャンヌは幼い妹と共に頼る者のない孤児になってしまった。

それから15年の月日がながれたルイ16世治世下。美しく成長したジャンヌは、爵位を得るために愛のない結婚をし、侯爵夫人となっていた。彼女の望みは、たった一つ、理不尽に奪われた一族の屋敷を取り戻す事。こうして、彼女の復讐劇が幕を開ける。

華やかなヴェルサイユ宮殿では、王室御用達の宝石商ボメルが、ルイ15世が愛人デュ・バリイ夫人に贈るために購入したダイヤの首飾りを王妃マリー・アントワネットに売込みにやってきた。贅沢に溺れきったアントワネットだが、160万リーブル（時価192億円）もの法外な金額、愛人へのプレゼントという因縁からこの申し出を断る。一方、ジャンヌは、晩餐会で知り合ったジゴロのルトーと一緒に、ある企みを思いつく。全ては王妃アントワネットが知らぬところで進行していくのだった…。




華麗なる18世紀を舞台にした宮廷サスペンスにハリウッドの一流スタッフ・キャストが総結集!

ジャンヌを囲むキャストにはハリウッドを始めヨーロッパを代表する実力派が結集。彼女と運命的な恋に落ちるルトーに「レッド・ブラネット」の新星サイモン・ベイカー。悲劇の王妃マリー・アントワネットに「パトリオット」のジョエリー・リチャードソン。時の大司教ルイ・ド・ローアンに「トゥモロー・ネバー・ダイ」のジョナサン・プライス、そして妖術を駆使する謎の伯爵カリオストロに「スリーピー・ホロウ」のクリストファー・ウォーケン。「プライベート・ベンジャミン」でアカデミー賞ノミネートの経験をもつチャールズ・シャイアが監督。全篇フランス・ヴェルサイユ宮殿にてロケを敢行。「ファイト・クラブ」のアレックス・マクドゥエルがプロダクション・デザインを、「エビータ」「エイジ・オブ・イノセンス」のジャン・ミッシェル・ユゴンが美術を、「炎のランナー」「ゴットファーザー PART III」のミレーネ・カノネロが衣裳を手掛け、映画を絢爛豪華に盛上げています。

マリー・アントワネットの首飾り

ヒラリー・スワンク、サイモン・ベイカー、エイドリアン・プロダイ、ジョナサン・プライス、ジョエリー・リチャードソン、クリストファー・ウォーケン
監督 チャールズ・シャイア / 脚本 ジョン・スイト / 撮影 アシュレイ・ロウ / 音楽 デヴィッド・ニューマン / プロダクション・デザイン アレックス・マクドゥエル / 美術 ジャン・ミッシェル・ユゴン
衣裳デザイン ミレーネ・カノネロ / AFFAIR OF THE NECKLACE / 2001年アメリカ映画 / サミット・エンターテインメント作品 / ノベライゼーション 新潮文庫

配給 日本ヘラルド映画  www.herald.co.jp www.necklace.jp

大阪市中央区難波3丁目8番11号
南 街 会 館